

早稲田大学 社会科学部
2023年度 入試問題の訂正内容

<社会科学部 一般選抜>

【国語】

●問題冊子7ページ：設問（一） 問九 選択肢二

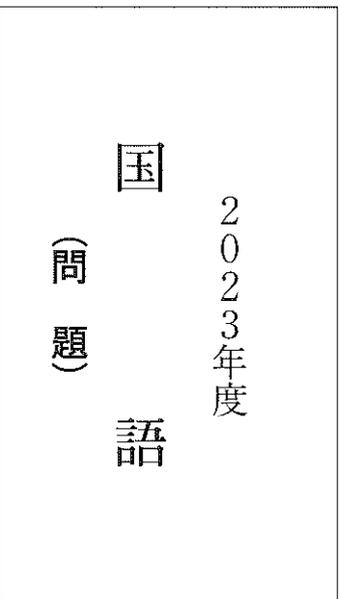
（誤）～が、起源三九二年にキリスト教を国教とした
後には、…

（正）～が、紀元三九二年にキリスト教を国教とした
後には、…

採点について

このことによる解答への影響はないものと判断し、採点
において特別な措置は講じないことといたします。

以上



〈R05172018〉

注 意 事 項

- 1 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 2 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 3 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- 4 マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、解答用紙の氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと(砂消しゴムは使用しないこと)。

マークする時	● 良い ○ 悪い ○ 悪い
マークを消す時	○ 良い ○ 悪い ○ 悪い

- 5 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
- 7 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
- 8 いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
- 9 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

(一) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。(なお、設問の都合上、文章の一部を改めている。)

一九九〇年代後半以降、インターネットが普及し始めてしばらくすると、ネットと民主主義の相性をめぐる議論が盛んになった。草の根の市民運動を広げ、民衆の声を直接政治に反映させようとしていたリベラル左派は、概してネットの普及を肯定的に受け止めた。マスメディアでは伝えられていない政治や経済の実情をネットによって一般の人たちに知らせることができた。また、これまで様々な事情から運動に関わることができなかった人が、集会の情報をいち早く知ってスケジュールを調整することができるとし、その場に来られない人も賛同の意志を表明することもできるようになる。ネットで結集した市民の声を、政治家や官僚、企業などにいち早く伝え、リアルタイムに影響を与えることができる。そうした理由からネットへの期待が高まった。

アメリカの批評家ハワード・ラインゴールド(一九四七～)は『バーチャル・コミュニケーション』(一九九三)で、ネット上に形成されているバーチャル・コミュニケーションがメンバー間のコミュニケーションを促し、民主的に運営されている様々な事例を紹介したうえで、そこでツチカわれたコミュニケーションのためのアーキテクチャ(システムの基本設計)と行動様式が社会全体に普及することで、電子民主主義(electronic democracy)という形で民主主義が再活性化され、ひいてはグローバルなレベルでの民主主義が可能になるのではないかと示唆している。すでに環境問題に取り組みむNGOは、メーリング・リストなどによって効率的にグローバルなネットワークを構築することに成功しており、これは他の分野にも応用可能だとしている。

日本でも、二〇〇〇年に文芸批評家の柄谷行人(一九四一～)を中心に、インターネットを介して、生協活動、消費者運動、環境運動、教員組合、地域通貨など、様々な市民運動をネットワーク化し、国家と資本に対抗することを目指したNAM(New Associationist Movement)という運動が立ち上げられた。

一方、インターネットの政治利用に**カ**疑的な声もある。アメリカの憲法学者キャス・サンステイン(一九五四～)は、『インターネットは民主主義の敵か(原題 Republic.Con)](二〇〇一)で、政治的な意見を共有するコミュニケーションについて掘り下げた分析を行い、「サイバー・カスケード(cyber cascade)現象を指摘している。これは、特定のラディカルな政治的主張を共有するコミュニティに入り浸っている人たちが、味方の発言にばかり接しているため、自分の意見が正しく、世の中は虚偽に満ちているという思い込みを強めていく現象だ。同じ意見を共有するコミュニティのメンバーであることをアイデンティティと感ずるようになると、仲間に合わせてしようとする傾向がさらに助長される。

従来は、ネットが普及して市民たちが多様な情報や意見に接するようになると、マスコミによる画一的な偏向報道の弊害を打破できる、と言われていた。しかし実際には、多くのネット民は自分の好きな情報や意見に飛びつき、それと異なった見方を知らないし、拒絶するので、市民の間に**A**が拡がった。メディアを介して得られる「共有体験 shared experiences」が減少しているので、イデオロギーの違う者同士が、同じ事実に基づいて議論するのが困難になっている、と云う。

サンステインの懸念が極端な形で中したが、二〇一六年のアメリカ大統領選挙である。CNNなど大手メディアの報道をフェイク・ニュース呼ばわりし、オバマ大統領を頂点とするリベラル・エリートきまの欺瞞まをキユウ弾するツイートの白人貧困層を中心に支持を集めたドナルド・トランプ(一九四六～)が、多くの常識的な批評家の予想に反して、共和党の大統領候補になり、リベラルなエリートきまの象徴とも言うべきヒラリー・クリントン(一九四七～)を破って大統領選に勝利した。トランプは当選後もツイッターやフェイスブックでリベラルや大手メディアに対する攻撃的な言葉を発し続け、支持層を引きつけ続けることに成功した。

二〇二二年一月には、大統領選挙の結果に不満を持つトランプ支持者による議事堂襲撃事件が起こった。彼らはSNSを利用して連絡を取り合うことで怒りを増幅させ、選挙結果を確認する議会の手続きを阻止するために集まってきた。

二〇一〇～一二年にかけてのアラブの春など権威主義的な政府に抵抗する民主化運動でSNSが一定の役割を果たしたことで、**①**再び高まりつつあったインターネットに対するリベラル左派の期待がやはり幻想であったのではないかと、**②**い**う**疑念が再び強まった。

しかも、皮肉なことに、この襲撃を煽ったとしてトランプはツイッターとフェイスブックのアカウントを停止された。このことによって、現代の民主主義が営利企業の提供するネット媒体によって支えられ、彼らの意向によって政治の行方が左右され得る、という問題も露わになった。

インターネットは、遠く離れた人同士のコミュニケーションを可能にするが、それはあくまで一つの可能性である。十分な議論抜きに、瞬間的な賛成／反対の声の集計によって、「世論」を作り出してしまいう面もある。

『インターネットは民主主義の敵か』でサンステインは、主にブログを中心とする政治サークルを念頭に考察している。メディア研究者のシヴァ・ヴァイディアナサン（一九六六）は、『アンチソーシャルメディア』（二〇一八）で、フェイスブックの登場で、事態がさらに深刻化していることを指摘している。ブログの場合、個々のユーザーがそれをフォローするかどうか判断するし、ブログの主催者が批判対象のサイトにリンクを貼ることが多いので、敵対する陣営の意見に触れる機会もある。しかし、フェイスブックのように、常時個々のユーザーに関する情報を収集し、潜在的欲望を読み取り、それに合う広告を提供するマイクロ・ターゲティングの機能を開発し、ビジネスを拡大してきたSNSが、主要な政治的媒体になると事情は異なってくる。ユーザー自身の意図的選択と関係なく、アルゴリズムに従って、見るべき情報をニュースフィードに自動的に呈示してするので、政治的視野狭窄はさらに顕著になる恐れがある。

SNSは「私」に代わって、「私にふさわしい政治的情報」をチョイスし、「私らしい政治的意見」を決めてくれる媒体になりつつある。それは民主主義にとって好ましいことなのか。

東浩紀（一九七一）が『一般意志2・0』（二〇一一）で提案したように、ネット上のビッグデータを解析して、その都度の「世論」の方向性を客観化して、自動的に政治的意志決定を行う総合的なプログラム——一般意志2・0——を立ち上げることで、問題を一気に解決してしまおうという考え方もある。人民の意志^②が瞬時に「判明」すれば、「所屬党派や圧力団体に付度^{せんたく}する」職業政治家を介することによって、人民の意志^③が歪められる、という代議制民主主義の弊害も除去できる。

B

そのように延々と連鎖するシステム内外の不安定要因を根本的に取り除くには、異論を一切許容せず、思想・言論を均一化する、ジョージ・オーウェル（一九〇三〜五〇）が『一九八四』で描いたような全体主義社会を構築するしかないように思えてくる。ワイマール時代のドイツの法学者カール・シュミット（一八八八〜一九八五）が『現代議会主義の精神的状況』（一九二三）で言うように、「民主主義」が、治者と被治者の「同一性（Identität）」つまり権力の頂点に立つて統治する人とその統治に従う人が政治の目指すところについて同じ考えを抱いており、立場が入れ替わっても支障はない状態にあるとすれば、「民主主義」と「全体主義」は定義上両立する。この意味での「民主主義」の下では、個人の間の意見や価値観の違いを尊重する必要はない。むしろ有害でしかない。

シュミットのな「民主主義」論を、ネットに現れる人々の欲望をビッグデータから読み取る一般意志2・0の発想とより「スムーズ」に融合するには、映画『マトリックス』（一九九九）などのSFに見られるように、人間をネットワークに接続して、欲望自体が同調するようにコントロールする、ということが考えられる。C わけである。そうすると、AIの端末と化した各個体が、AIあるいはAIに具現される権力に抑圧されると感じることはなくなるし、瞬間的に「世論」がころころ変わって安定しない、という問題も解消する。

無論、現在それほどの技術はないし、人間という生物をそこまでコントロールすることができるのかという原理的な疑問がある。可能になったとしても、これまたSFでよくあるように、端末になり切ることには抵抗する人や、強制的な接続から取りこぼされる人は相当数出るだろうし、いったん端末になった個体の中にもコントロールから逸脱するものがそれなりに出てくるかもしれない。

高度なテクノロジーによって物理的環境を操作することで逸脱行動を抑止する「アーキテクチャ」はすでに私たちの生活の様々な局面で使用されている。特定の場所での携帯電話の使用を防止する妨害電波や、若者がコンビニの前に集まるのを防止するモスキート・サウンドなどだ。こうしたアーキテクチャはさらに高度化され、人間の心理状態そのものに影響を与えられるようになり、フェイスブックなどですでに行われている、ニュースフィードの自動的なターゲティングと融合するようになれば、少数派に対するD がスムーズに、本人たちが気づかないうちに行われるようになるかもしれない。

一九世紀半ばにフランスの政治思想家トクヴィル（一八〇五〜五九）や、ベンサムの後継者とされる英国の哲学者・経済学者ジョン・スチュアート・ミル（一八〇六〜七三）は、民主主義が浸透・定着した社会では、多数派を占めた人たちが自分たちの正しさを確信するあまり、自分たちの意見を少数派に押しつけながら、それが「彼ら」のためになる^④と思いついてしまふ、「多数派の専制（tyranny of majority）」の危険を指摘した。インターネットはそれを防いで、

人々が多様な意見を戦わせる環境を作り出す媒体だと期待されたが、その期待とは真逆の現象が目立っているわけである。

(仲正昌樹『現代哲学の論点』より)

問一 傍線部 a・b・c のカタカナを漢字で表現したとき、同じ漢字をカタカナの部分に用いるものを、それぞれ次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

a ツチカわれた

イ 研マイ □ 静ヨウ ハ 裁バイ ニ 貯チク ホ シヨウ東

b カイ疑的

イ クヤむ □ アヤしむ ハ ツプれる ニ イマシめる ホ ナツかしむ

c キユウ弾

イ 紛キユウ □ キユウ急 ハ 不キユウ ニ キユウ極 ホ 号キユウ

問二 空欄 A に入る語句として最も適切なものをそれぞれ次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 同調 □ 平等 ハ 分断 ニ 格差 ホ 懸念

問三 傍線部①「再び高まりつつあったインターネットに対するリベラル左派の期待がやはり幻想であったのではないか」という疑念が再び強まった」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ ネットで結集した市民の声をリアルタイムに政府に伝え、草の根的な市民運動を展開してきて、結局そこで提示しているのはバーチャルな理想像にすぎず、現実性が薄かったから。

ロ SNS が民主化運動を後押しした事例がある反面、SNS が他の意見や見方を排除する方向で機能することで情報の偏向を生み、強権的なグループの台頭を許すことにつながったから。

ハ ネット上にあふれる多種多様な情報から必要な情報を能動的に取捨選択していくことで、リベラルな市民の育成とリベラルな社会の実現を目指すはずが、自分にとって好ましい情報をただ受動的に受け取る媒体としてしかネットが機能していないから。

ニ ネット上のバーチャル・コミュニティにより、世界的なレベルでの民主主義の実現が期待されたが、特定のコミュニティにしか通用しない考え方に縛られ、他のコミュニティとの共有体験が欠如しているため、大きな潮流の形成までには至っていないから。

ホ 同じ SNS でも、ブログとフェイスブックでは個々のユーザーの使用状況に差があり、前者はリンクを貼ることで敵対する意見にも耳を傾けられるが、後者は専ら自分の潜在的欲望に従った非意図的選択に偏ってしまうため、政治改革には到底結びつかないから。

問四 傍線部②「皮肉なこと」とあるが、「皮肉なこと」と筆者が考える理由の説明として、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ アラブの春などの民主化運動でSNSが一定の役割を果たしたことで再び高まりつつあったインターネットに対するリベラル左派の期待が、ドナルド・トランプ支持者による議事堂襲撃などのほころびによって幻想と化してしまったから。

ロ インターネットによって、人々が多様な意見を戦わせる環境が整い、民主主義的政治が促進されると期待されていたにもかかわらず、逆に、ネット媒体を提供する営利企業の意向によって政治の行方が左右される、という事態が露わになってきたから。

ハ ドナルド・トランプは議事堂の襲撃を思いとどまるようSNSで支持者に働きかけていたにもかかわらず、その行動がかえって裏目に出て、非支持者たちにはトランプ自身が事件を首謀したと判断されることになり、結果的にはアカウントが停止されるような事態にまで至ってしまったから。

ニ SNSサービスを提供する各社は、自由な言論を保障するという公約を掲げたドナルド・トランプに対して、当初はこれを支持して大統領当選に導いたはずなのに、会社にとって都合の悪い言論がSNSを通じて流れるようになると、手のひらを返したようにトランプのアカウントを停止したから。

ホ ツイッターやフェイスブックといった、一定の企業が提供するネット媒体を駆使して二〇一六年のアメリカ大統領選挙に勝利し、その後もそれらの媒体を利用して支持層を引きつけ続けてきたドナルド・トランプが、まさにそうした企業によって「アカウント停止」という憂き目を見ることになったから。

問五 空欄Bには次の五つの文が入る。正しく並べたとき三番目に来る文として最も適切なものを一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 出入りを認めるのであれば、その条件はどうやって決定するのか？

ロ 一般意志2・0に参加する人はほとんど減っていくのか、それとも事案ごとに入出入りするのか、

ハ また、一般意志2・0の「決定」を受け入れがたいとして反抗する人が大量に登場して、騒乱状態になったらどうするのか。

ニ 一般意志2・0に残っている人で、どう鎮圧するか決定することになるだろうが、その「決定」に対してさらに反抗する人が出てきたら……。

ホ しかし、それだと瞬間ごとに「人民の意志」が大きく両極に振れて、何も実行できないことになりかねないの
で、適当な時期に行った集計の帰結は、しばらくの間変更しないよう安定化の規則を組み込んでおく必要がある
が、その間の取り方はどのようにプログラムしたらいいのか？

問六 傍線部③「この意味での「民主主義」の下では、個人の間の意見や価値観の違いを尊重する必要はない」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 治者と被治者が同じ立脚点に立つという想定の下では、政治の目指す方向性も類似しているはずなので、「民主主義」と「全体主義」は定義上両立しうることになり、そこでの個人間の意見や価値観も同一視されるから。
- ロ SNSに搭載されたアルゴリズムが、ビッグデータ解析によって客観化された「世論」とは異なる政治的意見を排除するように、個人の意志形成を自動的に誘導していくため、そのような意見や価値観の違いは生じようがないから。
- ハ 人間をネットワークに接続して、欲望自体が同調するようにコントロールすることができるようになれば、個人の意見や価値観の違いは、仮にそのような差が生じることがあっても、誤差の範囲内でのバグとして無視されうるようになるから。
- ニ 「民主主義」が、治者と被治者の同一性を意味する限りにおいて、治者の意志と被治者の意志は究極的には同一となるのだから、被治者である個々人の意見や価値観が微細な点において相違することがあっても、それは取るに足らないものと見なされるから。
- ホ 権力の頂点に立つて統治する側になった治者が、高度なテクノロジーを駆使して少数者の政治的意見に圧力をかけることが可能になり、少数者も本人たちが気づかないうちにいつの間にか権力側に取り込まれていくため、結果的に意見や価値観の違い自体が排除されるから。

問七 空欄Cに入る文として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ AIが民衆の意志を読み取るというより、割り振るようにする
- ロ AIが民衆の意志を汲み取るというより、創り出すようにする
- ハ AIが民衆の意志を吸い取るというより、当てはめるようにする
- ニ AIが民衆の意志を掬い取るというより、寄せ集めるようにする
- ホ AIが民衆の意志を掴み取るというより、すり合わせるようにする

問八 空欄Dに入る語句として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 誘導 ロ 修復 ハ 説得 ニ 断罪 ホ 矯正

問九 傍線部④「多数派の専制」ということで筆者が考えていること具体例として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 社内ではこの煙を嫌う社員が多数派を占めるに至ったため、「喫煙することはあなたの健康を害します」とのスローガンのもとに、社内を全面禁煙とすることにした。

ロ 多数決で決めた結果に執拗に異議を唱えるメンバーがいたが、決議方式として多数決を採用するに至った経緯の正当性に問題がないことを確認し、その異議を棄却することにした。

ハ ある選挙区で、A氏が他の候補者の二倍以上にあたる十万票を獲得してトップ当選したが、その十万票は、その選挙区の有権者数のわずか二十パーセントにすぎないことがわかった。

ニ ローマ帝国は、征服した国の民の宗教に対しては、他民族に影響を与えない限り概ね寛大な姿勢をとっていたが、起源三九二年にキリスト教を国教とした後には、ユダヤ人を神の子キリストを殺害した民として迫害するようになった。

ホ 国民の選挙で選ばれた代議員が議会を構成し多数決によって政治的意志決定を行うのではなく、社会の変化にに応じて政治的議題が生起するたびに、インターネットによって国民が直接投票を行うことで、過半数を得た政策が少数派の意見を駆逐して実施された。

問十 本文の主旨として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ SNSの発達は、誰もが自主的に世界中の情報を検索・収集して議論を戦わせることを可能にしたことから、グローバルなレベルでの民主主義の発展が期待されたが、実際には選択する情報に偏りが生じており、私の意見ではなく、いかにも私のものであるかのような意見^①を他人任せで決めてもらっている状況に過ぎない。

ロ 「サイバー・カスケード」現象により人々の政治的視野狭窄が進むと、ドナルド・トランプ支持者のような暴動も起きかねないが、東浩紀が提案したプログラム「一般意志2・0」により、ネット上のビッグデータを解析してその都度世論の方向性を客観化して示せば、そのような動きもコントロールできるようになることが期待される。

ハ 人間をネットワークに接続して欲望自体が同調するようにコントロールするという発想は、個人々がそれぞれAIの端末と化すことが前提となるが、端末になり切ること抵抗する人や強制的接続から取りこぼされてしまう人、またAIに象徴される権力に抑圧されていると感じる人も多く出現すると予想されるため、実現は難しいと思われる。

ニ ネットユーザー自身の意図的選択とは関係なく、アルゴリズムに従って、見るべき情報をニュースフィードに自動的に提示してくれる機能は、大変楽でかつ便利である反面、人々の主体性を奪うという点でネット社会の大きな問題となっており、この問題を一気に解決しようとしたのが、「一般意志2・0」や「マトリックス」のような、ネットワークを利用して人々の欲望を読み取るシステムである。

ホ 人々の逸脱行動を抑制するためのアーキテクチャとして、特定の場所での携帯電話使用を防止する妨害電波や、若者がコンビニの前に集まるのを防止するモスキート・サウンドなど、様々な高度化されたテクノロジーが提供されてきているが、マイクログ・ターゲットティング機能を駆使して、常時個々のユーザーに合う情報や商品を提供するフェイスブックも、逸脱行動抑制のシステムとして一役買っていると言える。

(二) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。(なお、設問の都合上、文章・用字の一部を改めている。)

前嶋の宿をたちて、岡部の今宿を打ち過ぐるほど、片山の松のかけに立ち寄りて、乾飯かんべんなど取り出でたるに、嵐すさまじく梢にひびきわたたりて、夏のままなる旅衣、薄き袂も寒く覚ゆ。

これぞこの

A

宇津の山を越ゆれば、薦かづらは茂りて昔の跡たえず。かの業平が修行者に言伝しけんほど、いづくなるらんと見ゆくほどに、道のほとりに札を立てたるを見れば、無縁の世捨人あるよしを書けり。道より近きあたりなれば、すこし立ち入りて見るに、わづかなる草の庵のうちにひとりの僧あり。絵像の阿弥陀仏をかけ奉りて、浄土の法文などを書けり。その外に更に見ゆるものなし。発心のはじめを尋ぬれば、わが身はもとこの国の者なり。さして思ひはれたる道心も侍らぬうへ、その身堪へたるかたなければ、理を觀するに心くらく、仏を念ずるに性ものうし。難行易行の二つの道ともにかけたりといへども、山中に眠れるは、里にありて勤めたるにまされるよし、ある人の教へにつきて、この山に庵を結びつつ、あまたの年月を送るよしを答ふ。この庵のあたりには、ことさらに煙たてたるよすがも見えず、柴折りくぶるなぐさめまでも思ひ絶えたるさまなり。身を孤山の嵐の底にやどして、心を淨域の雲の外にすませる、いはねどしるく見えて、なかなかあはれに心細し。

世をいとふ心の奥や

B

かかる山辺の住家ならでは

この庵のあたり幾ほど遠からず、峠といふ所に至りて、大きな卒塔婆そとばの年経2にけると見ゆるに歌どもあまた書き付けたる中に、「東路はここをせにせん宇津の山あはれも深し薦の細道」と詠める、心とまりて覚ゆれば、その傍らに書き付けし。

われもまたここをせにせん宇津の山わきて色ある薦の下露

なほうち過ぐるほどに、ある木陰に石を高く積みあげて、目に立つさまなる塚あり。人に尋ぬれば、「梶原が墓」となん答ふ。道のかたはらの土となりけりと見ゆるにも、顯基中納言の口ずさみ給へりけん、「年々に春の草の生ひたり」といへる詩、思ひ出でられて、これも又古き塚となりなば名だにも残らじとあはれなり。羊太傳が跡にはあらねども、心ある旅人はここにも涙をや落すらん。かの梶原は、將軍二代の恩にほこり、武勇三略の名を得たり、³かたはらに人なくぞ見えける。いかなることかありけん、かたへの憤り深くして、忽ちに身を滅ぼす。C になりければ、ひとまども延びんとや思ひけん、都の方へはせ上りけるほどに、駿河国吉川かみといふ所にて討たれにけりと聞きしが、さここにてありけりとあはれに思ひ合せらる。

讃岐の法皇配所へおもむかせ給ひて、かの志度といふ所にてかくれさせおはしましにける御跡を、西行修行のついでに見まゐらせて、「よしや君むかしの玉の床とてもかからんのちは何にかはせん」と詠めりけるなど承るに、まして下さまの者のことは申すに及ばねども、さしあたりて見るには、いとあはれにおほゆ。

あはれにも空4にうかれし玉ほこの道の辺へにしも名をとどめけり

清見が関も過ぎうくてしばし休らへば、沖の石、むらむら潮干にあらはれて波にむせぶ、磯の塩屋、所々に風にさそはれて煙なびきにけり。東路の思ひ出ともなりぬ。C 渡なり。

注 梶原が墓：梶原景時と一族の墓

顯基中納言：源顯基。平安時代の貴族

將軍二代：源頼朝と源頼家

問十一 空欄Aの和歌の第二句以下は、次に掲げた四句から成る。どのような順に並べればよいか。最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- ①松の嵐よ ②岡べなる ③頼む木のもと ④心して吹け

- イ ①②③④ □ ④②①③ ハ ③②④① ニ ③②①④ ホ ①②④③

問十二 傍線部 1「その身堪へたるかたなければ」の意味として、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 道心を貫く方法もなかったので
- ロ この身には優れた能力もないので
- ハ 私には修行を耐え忍ぶ能力もないので
- ニ その方の身に大変なことがおこったので
- ホ その身が悪心に負けないようにする方法がなくて

問十三 空欄 B に入るものとして、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ まさりけん
- ロ すますらん
- ハ あはれなれ
- ニ にごらまし
- ホ おもはまし

問十四 傍線部 2「に」と文法的に同じものとして、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 心あてに折らばや折らむ初霜のおきまどはせる白菊の花
- ロ ももしきや古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり
- ハ 陸奥のしのぶもぢずり誰ゆゑに乱れそめにしわれならなくに
- ニ 見せばやな雄鳥のあまの袖だにも濡れにぞ濡れし色はかはらず
- ホ あはれともいふべき人は思ほえて身のいたづらになりぬべきかな

問十五 傍線部 3「かたはらに人なくぞ見えける」の意味として、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ いつも孤高な様子に見えていた
- ロ 並ぶ者がいないほどの権勢であった
- ハ 傲慢で傍若無人のありさまであった
- ニ 周囲の人々に嫌われている様子であった
- ホ 武勇に優れていて従者も不要の様子であった

問十六 傍線部 4「うかれし」の主語として、最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 梶原
- ロ 世捨人
- ハ 讃岐の法皇
- ニ 西行
- ホ 作者

問十七 空欄 C (二箇所)には同じ助動詞が入る。最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ らる
- ロ らん
- ハ なる
- ニ べき
- ホ まじき

問十八 この文章は、鎌倉時代の文学の一節である。出典として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 古事談
- ロ 西行物語
- ハ 東関紀行
- ニ 十六夜日記
- ホ 源平盛衰記

問十九 二重傍線部「梶原が墓」と「羊太傳が跡」に関連して、次に示す『晋書』卷三十四「羊祜」伝の記載を読んで、あとの問いに答えよ。(設問の都合上、送り仮名を省いた箇所がある。)

(羊) 祜 樂ニ山水、毎ニ風景、必造ニ峴山、置酒言詠、D 日
 不_レ倦。嘗_テ慨_{シテ}歎_息、顧_ニ謂_ニ從事中郎鄒湛_一等_一曰、「自_リ有_ニ
 宇宙、便_チ有_ニ此山_一。由來賢達、勝士、登_{リテ}此遠望、5 如_レ我
 与_レ卿者多矣。皆湮滅無_レ聞、使_ム人悲傷。如_レ百歲後有_レ
 知_ル魂魄猶_ホ應_ニ登_ル此也。」湛曰、「E 德冠_ニ四海_一、道嗣_ニ前
 哲_一、令聞令望、必与_ニ此山俱_ニ傳_ニ。」(略)襄陽百姓於_ニ峴
 山、祜平生遊憩之所、建_レ碑立_レ廟、歲時饗祭焉。望_ニ其
 碑者莫_シ不_レ流涕。杜預因_{リテ}名_ニ為_ニ墮淚碑_一。

注 羊太傳：晋の羊祜。太傳は要職の名。三公の一つ。 峴山：襄陽の山。 從事中郎：官名。 鄒湛：羊祜の家臣。

襄陽：湖北省にある地名。

杜預：晋の人。

※WJ田捕鯊に際し、以下のとおり出典を追記しております。

『晋書』卷34「羊祜」和刻本正史『晋書』(縮印版) (一) pp.485-486 1971年発行汲古書院

(I) 空欄Dに入る語として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 来
- ロ 他
- ハ 終
- ニ 昨
- ホ 往

(II) 傍線部5「如我与卿者多矣」は、「われとけいとがごときものおほし」と訓読する。この訓読に合致した返り点として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 如_ニ我_一 与_ニ卿_一 者多矣
- ロ 如_ニ我_一 与_レ卿_一 者多矣
- ハ 如_ニ我_一 与_ニ卿_一 者多矣
- ニ 如_ニ我_一 与_ニ卿_一 者多矣
- ホ 如_ニ我_一 与_レ卿_一 者多矣

(III) 傍線部6「皆湮滅無聞、使人悲傷」は、どのようなことをいうか。その説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 宇宙が生まれて以来の峴山を控えながら、そこに築いた国がすべて滅亡していく悲哀を嘆いている。
- ロ 宇宙が生まれて以来の峴山に向き合いつつ、時間のみが音もなく流れていく悲哀を説いている。
- ハ 宇宙が生まれて以来の峴山の存在ではあるが、やがて山水が風化して衰亡していく悲哀を説いている。
- ニ 宇宙が生まれて以来の峴山の存在に対して、何も残ることなく人が消滅していく悲哀を嘆いている。
- ホ 宇宙が生まれて以来の峴山のもとに生きて、不動と思われた人望が失われていく悲哀を感じている。

(M) 空欄Eに入る語として最も適切な語を次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

- イ 余
- ロ 公
- ハ 帝
- ニ 臣
- ホ 彼

(V) 傍線部7の「墮涙碑」の由来、ならびに二重傍線部の「羊太傅が跡」と「梶原が墓」の関わりの説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、解答欄にマークせよ。

イ 襄陽の民衆が岷山の山水を愛した羊祜をまねて物見遊山する一方、その仁徳をしのいで碑文と廟宇を建てたもので、その碑文を見ては「流涕」しない者はいないという羊祜への尊崇の念にあやかり、「梶原の墓」にも参詣者が増えることを願っている。

ロ 岷山の山水を愛した羊祜を慕う襄陽の農民が、その人徳を顕彰して碑文と廟宇を建てたもので、「墮涙」は碑文を見た人々がみな「流涕」したという羊祜への愛惜の情を表すのに対して、「梶原の墓」は時を経て忘却されている現実を悼んでいる。

ハ 羊祜が平生散策した岷山に想う襄陽の民衆が、羊祜の優しい人徳をしのいで碑文と廟宇を建てたもので、その碑文を見ては「流涕」しない者はいない羊祜の「墮涙碑」さながらに、「梶原の墓」も信奉者の手で早く改葬されることを期待している。

ニ 岷山の山水を愛した羊祜を慕う襄陽の民衆が、その遺徳を顕彰して碑文と廟宇を建てたもので、その碑文を見ては誰しも「流涕」しない者はいなかったという羊祜の敬愛されるさまと比べて、碑も無き「梶原の墓」の行く末をはかなんでいる。

ホ 襄陽の農民が、岷山の山水を愛した羊祜の遺徳をしのいで碑文と廟宇を建てたもので、「墮涙」は碑文を見ては誰しも「流涕」しない者はいなかったという羊祜への敬慕の思いを表す一方、「梶原の墓」に涙する者たちとその供養を促している。

〔以下 余白〕